

選評 川柳の部

選者 間瀬田紋章先生

今回は応募作品が少なかったが、質としては高い作品が寄せられた。安井息軒記念館と梅は切り離せないもので、梅の香に対する思い入れが寄せられていた。

特選 一心に究めた道へ梅香る

息軒の一心さと寒さに負けぬ気品を備えた梅の香とが相乗効果を生んで、極めた道の神聖さを感じる作品。

金賞 梅ひらくまるで息軒呼ぶように

部屋にこもる息軒を、梅の香が庭に誘い出すシーンが見えてくる。川柳は俳句と違って、人間が作品の中に表現されなければならない。

銀賞 息軒の梅が聞いている子らの夢

梅の木の寿命は一般に百年くらいと言われている。

梅の木のそばで子どもたちが語る夢を毎年聞いている梅。その夢の力をもらって寿命を延ばすかも。